

## 称名報恩

### 【題意】

第十八願文には信心と称名が誓われてあるが、往生の正しき因は信心であつて称名ではない。信後の称名は、行者の心持ちから言えば、ご信心をいただいた感謝の思いが声となつてあらわれた報恩行であることを、明らかにする。

### 【出拠】

『教行証文類』「正信偈」「化身土文類」

### 【釈名】

「称名」「報恩」

### 【義相】

- 一、第十八願文における「乃至十念」の意義
- 二、相承における報恩行としての称名
- 三、称名が報恩となる理由
- 四、称名策励の可否

## 報化二土

### 【題意】

源信和尚の報化弁立の積功を継承された宗祖の報化二土（報中化、信疑得失）の法義を、七祖相承の流れにおいて確認するとともに、その意義を明らかにする。

### 【出拠】

『往生要集』 「問答料簡」  
『教行証文類』 「行文類」 「真仏土文類」

### 【積名】

「報」「化」「二土」

### 【義相】

一、二種の浄土の伝承

- ① 『大経』 弥勒領解・胎化得失
- ② 「易行品」
- ③ 『論註』 八番問答
- ④ 『安樂集』 三身三土・凡聖通往
- ⑤ 「定善義」 水觀・地觀、「散善義」 抑止門釈、『般舟讚』
- ⑥ 『往生要集』
- ⑦ 『選択集』 讚嘆念仏章、『和語燈録』 諸人傳説の詞、『拾遺和語燈録』 東大寺十問答

二、宗祖における報化二土

- ① 眞実報土の意義
- ② 方便化土の意義（含、化土往生の因）

## 輪廻転生

### 【題意】

解脱の因を満足しない衆生はどこまでも流転輪廻していくという通仏教的教説は、機の深信という浄土真宗の重要な法義にとって、欠くべからざるものであることを明らかにする。

### 【出拠】

『教行証文類』「総序」 「信文類」  
『尊号真像銘文』  
『歎異抄』

### 【積名】

「輪廻」「転生」

### 【義相】

一、輪廻の主体と往生の主体

- ① 『大経』における輪廻主体の表示
- ② 『論註』における往生主体論

二、宗祖にいたる輪廻説の伝承

- ① 『大経』
  - ② 『安楽集』の『大智度論』引文
  - ③ 『論註』『讚阿弥陀仏偈』
  - ④ 『安楽集』
  - ⑤ 『観経疏』『法事讚』『往生礼讚』『般舟讚』
  - ⑥ 『往生要集』
  - ⑦ 『和語燈録』念仏大意・要義問答、『拾遺和語燈録』往生浄土用心
- 三、宗祖における輪廻概念の意義

- ① 宗祖における輪廻説（含、輪廻転生の因）
- ② 現代の生命観における意義